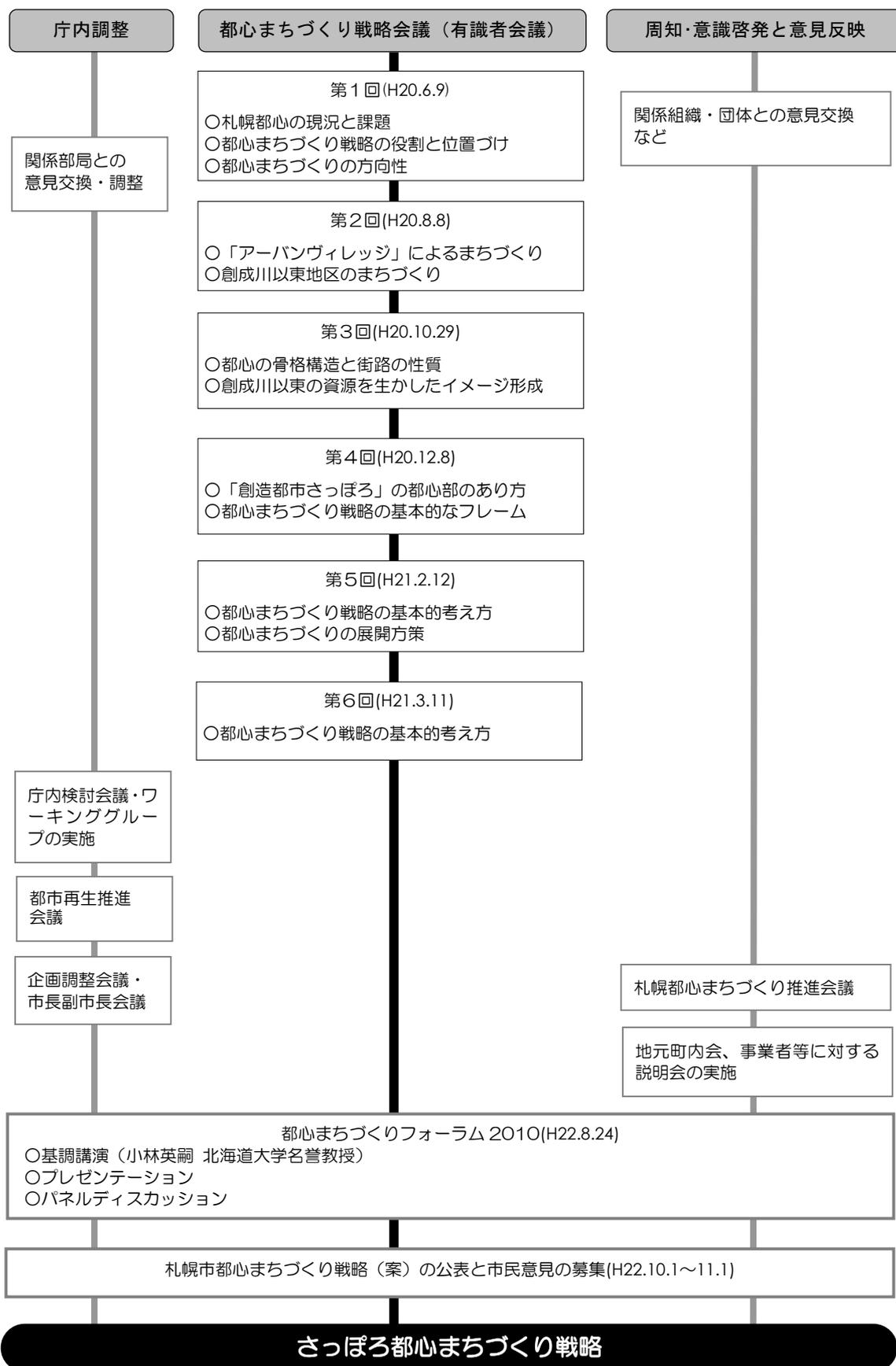




## 參考資料

---

## ■参考資料 計画策定過程



## (1) 都心まちづくり戦略会議

### ◇開催経緯

第1回 平成20年6月9日（月）

都心まちづくり戦略の役割と位置づけを確認し、都心を取り巻く状況や動向、世界から見た札幌の位置づけなど、幅広い視点から都心のまちづくりの方向性がどうあるべきか検討

第2回 平成20年8月8日（金）

「アーバンヴィレッジ」の視点に基づくまちづくりの考え方や、創成川以東地区のまちづくりの展開方策などについて検討

第3回 平成20年10月29日（水）

都心のまちづくりを支える骨格構造のあり方や、創成川以東地区の既存資源を生かした、まちのイメージ形成手法などについて検討

第4回 平成20年12月8日（月）

「創造都市さっぽろ」における都心部のあり方や、都心まちづくり戦略の骨格となる、計画の基本フレームについて検討

第5回 平成21年2月12日（木）

都心まちづくり戦略の基本的考え方と、総合的なまちづくりの展開方策について検討

第6回 平成21年3月11日（水）

都心まちづくり戦略の基本的な考え方について、都心まちづくり戦略会議の検討結果として取りまとめ

### ◇都心まちづくり戦略会議委員（敬称略）

（役職等については当時のものです）

氏名	職業（役職）
篠原 修	政策研究大学院大学教授
小林 英嗣	北海道大学大学院工学研究科教授
武邑 光裕	札幌市立大学デザイン学部教授
倉田 直道	工学院大学工学部教授
村木 美貴	千葉大学大学院工学研究科准教授
遠藤 新	金沢工業大学環境・建築学部講師
福井 恒明	東京大学都市持続再生研究センター特任准教授
吉田 明	株式会社日建設プロジェクトマネジメント室主管
下村 邦夫	札幌市市民まちづくり局長

## (2) 地元町内会、事業者等に対する説明会等の実施

### ◇開催経緯

月 日	説明会・会議名等
平成 22 年 3 月 19 日	都市再生連絡会議
平成 22 年 4 月 8 日	札幌都心まちづくり推進会議
平成 22 年 4 月 13 日	中央区連合町内会連絡会議
平成 22 年 4 月 14 日	四番街まちづくり委員会
平成 22 年 4 月 26 日	豊水地区連合町内会役員会
平成 22 年 4 月 26 日	東北連合町内会役員会
平成 22 年 4 月 27 日	札幌大通まちづくり株式会社取締役会
平成 22 年 5 月 13 日	札幌大通まちづくり株式会社運営委員会
平成 22 年 5 月 19 日	札幌駅前通協議会
平成 22 年 5 月 21 日	大通地区連合町内会役員会
平成 22 年 5 月 27 日	東地区連合町内会役員会
平成 22 年 6 月 2 日	中央地区連合町内会役員会
平成 22 年 6 月 25 日	本府地区連合町内会役員会

### (3) 都心まちづくりフォーラム 2010

#### ◇開催概要

日時：平成 22 年 8 月 24 日（火） 18：00～21：00

会場：札幌市教育文化会館小ホール（札幌市中央区北 1 条西 13 丁目）

参加者数：約 330 名

#### プログラム

1 開会・主催者あいさつ (18：00～18：05)

札幌市副市長 中田 博幸

2 基調講演「<sup>グローバルリーダー</sup>人間環境都市さっぽろの創造戦略」 (18：10～19：00)

北海道大学名誉教授／一般社団法人都市・地域共創研究所代表理事 小林 英嗣

3 プレゼンテーション (19：00～20：00)

#### 【テーマ1 新たな時代の都心まちづくり】

##### ◆ 都心まちづくり戦略

札幌市市民まちづくり局都心まちづくり推進室都心まちづくり課長 芳村 直孝

##### ◆ 札幌大通まちづくり株式会社の取組

札幌大通まちづくり株式会社代表取締役社長 廣川 雄一

#### 【テーマ2 まちを変える路面電車】

##### ◆ 路面電車延伸の考え方

札幌市市民まちづくり局総合交通計画部地域交通担当課長 佐々木 康之

##### ◆ 公共交通を基軸としたまちづくり

富山市都市整備部路面電車推進室長 谷口 博司

4 パネルディスカッション (20：10～21：00)

##### ◆ 今都心が変わる～新たな時代を切り拓くまちづくりの戦略～

コーディネーター：苗穂駅周辺まちづくり協議会アドバイザー 山重 明

パネリスト：工学院大学建築都市デザイン学科教授 倉田 直道

千葉大学大学院工学研究科准教授 村木 美貴

札幌大通まちづくり株式会社代表取締役社長 廣川 雄一

富山市都市整備部路面電車推進室長 谷口 博司

札幌市市民まちづくり局理事 丸田 剛久

## (4) 計画案の公表と市民意見の募集

### ◇意見募集実施概要

#### (1) 意見募集期間

平成 22 年（2010 年）10 月 1 日（金）～平成 22 年（2010 年）11 月 1 日（月）  
（31 日間）

#### (2) 意見募集方法

持参、郵送、ファックス、電子メール

#### (3) 資料配布・閲覧場所

- ・市民まちづくり局都市計画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課
- ・総務局行政部行政情報課（市政刊行物コーナー）
- ・各区役所総務企画課
- ・大通公園まちづくりセンター、豊水まちづくりセンター、東北まちづくりセンター、東まちづくりセンター

### ◇意見の内訳

#### (1) 意見提出者数及び意見提出件数

- ・意見提出者数 9 人
- ・意見提出件数 22 件

計画案の項目	意見数	割合
序章 都心まちづくり戦略とは	0 件	0%
1 章 都心まちづくりの目標	0 件	0%
2 章 都心まちづくりの展開戦略	12 件	55%
3 章 都心まちづくりの重点的取組	7 件	32%
4 章 協働による持続的なまちづくり	0 件	0%
計画案全般に関すること	1 件	4%
小計①	20 件	91%

他の業務・事業に関すること（注）	2 件	9%
小計②	2 件	9%

合計（①+②）	22 件	100%
---------	------	------

（注）計画案と直接の関係がないご意見（他事業へのご意見等）については、非公開とし、ご意見に対する本市の考え方は記載しておりません。

## ◇意見の概要と札幌市の考え方

第2章 都心まちづくりの展開戦略（12件）			
意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
1	14	札幌西武百貨店・ロフト館の跡地利用について、東京の巢鴨のように、40代以上の人利用しやすいデパートとして活用するといいいのではないか。	札幌西武百貨店・ロフト館の跡地は、札幌駅南口の正面に位置することからも、都心部のまちづくりを進めていくうえで、極めて重要な場所であると認識しております。 このようなことから、西武百貨店跡地を含む北4条西3丁目街区の権利者の皆様に呼びかけ、街区全体の将来を話し合う場として、「札幌駅周辺まちづくり検討会」を立ち上げたところです。 今後、ご提案いただいた内容も参考にさせていただきながら、北4条西3丁目街区の将来のまちづくりについて、どのような可能性があるのか、検討を進めていきたいと考えております。
2	19	大都市でありながらみどりが豊富な街並みを生かし、札幌の顔となる景観の創出、コンパクトな都市構造を形成していくためには、 【展開戦略3】「環境共生戦略」が重要と考える。 市民、地域住民、企業との協働を行政が促進し、戦略を遂行してほしい。	都心のまちづくりを進める上では、札幌市の持つ豊かな自然環境という特性を十分に生かし、世界に札幌の魅力を発信していくことが重要であると考えております。 官民の協働により、都心まちづくり戦略に位置づけた取組を進めていきたいと考えております。
3	21	【展開戦略3】「環境共生戦略」に、環境負荷の抑制に資する自転車の記述を追加してほしい。	自転車は環境にやさしい交通手段であることから、いただいたご意見の趣旨を踏まえ、計画案の該当箇所に加筆します。
4	22	広場などの空間を簡単な手続きで使える制度ができればいいのではないか。ワゴンセールや移動者販売に対しても、イベント時以外にも広場などの空間を開放した方がいいのではないか。	都心部では、市民の皆様が多様な活動ができるよう、交流空間や界わい空間を創出していくこととしております。その活用方法については、いただいたご意見も参考にしながら、検討を進めていきたいと考えております。

5	24	都心部でも歩道が狭い道路があるため、出来るだけ幅員を広くしてほしい。	歩行環境の強化につきましては、計画案の 24 ページに「歩行・自転車走行環境の強化」として位置づけております。 人と環境にやさしい都心の創出に向け、歩行環境の向上などの取組を行っていきたいと考えております。
6	24	都心での自転車走行を禁止するか、自転車専用道路を設けて、歩行者の安全確保に努めてほしい。 (2件)	快適な歩行環境と自転車走行環境の創出に向け、自転車の走行空間の明確化を図っていく必要があると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の自転車関連施策の参考とさせていただきます。
7	24	自転車駐車場附置義務条例について、既存建物への適用や駐輪場の容量の改善、利用目的の明確化など、改正を視野に入れてほしい。	総合的な駐輪対策の一環として、自転車駐車場附置義務条例の見直しにつきまして、検討していきたいと考えております。
8	24	駐輪場の整備が完成するまでの期間、一時的な簡易駐輪場整備も検討してほしい。	駐輪需要への対応として、ご提案のありました一時的な簡易駐輪場の整備も含め、総合的な駐輪対策を推進していく必要があると考えています。 いただいたご意見につきましては、今後の自転車関連施策の参考とさせていただきます。
9	24	自転車走行空間の確保については、これまで歩道に確保することを続けてきたが、車道に自転車レーンを作る事を中心に自転車走行空間を確保してほしい。	歩道環境改善の観点からも、自転車走行空間の明確化を図っていく必要があると考えています。 いただいたご意見につきましては、具体的な提案として今後の自転車関連施策の参考とさせていただきます。
10	24	狸小路 8 丁目から東屯田通へ向かう散策ルート、狸小路 10 丁目から西屯田通へ向かう散策ルートは、個性的な店や施設が多いので、散策ルートを整備をして、商店街が共同で色々な企画をすることで、市電を生かしたまち歩きができるのではないかと。	都心まちづくり戦略では、「人を中心とした魅力あるまち」を目指すこととしており、楽しくまち歩きができるよう、様々な取組を通じて、都心の回遊性を高めていきたいと考えております。 また、路面電車につきましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、その活用方法を検討しているところです。 いただいたご意見につきましては、今

			後の施策の参考とさせていただきます。
11	27	都心まちづくりの展開プログラムに「自転車走行空間の確保」を含めてほしい。	自転車走行空間の確保につきましては、24 ページ、【展開戦略5】「人を中心とした交通戦略」に、「自転車走行空間の明確化」として記載しておりますので、27 ページにも同様の記載を追加します。

第3章 都心まちづくりの重点的取組（7件）			
意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
12	30	「北三条通の強化」について、自転車走行空間の確保は、安全性の向上、コストの抑制などの観点から、一路線（北三条通）に対しての線的なものではなく、ネットワークを意識した面的なものとしてほしい。	都心部では、自転車走行空間の明確化を図ることとしており、そのネットワーク化につきましては、今後の自転車関連施策の参考とさせていただきます。
13	33	展開軸である「いとなみの軸（東四丁目線）」に、ものづくりの一環として市民が中心となって大規模な植樹を行い、第二のポプラ並木やイチョウ並木を形成してはどうか。	「東四丁目線の強化」につきましては、今後、その具体的な内容について検討を進めていくこととしております。いただいたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。
14	33	東四丁目線は南は豊平川につながっており、豊平橋を経由して都心と豊平区を行き来する自転車が多いことから、他路線に比べて自転車の利用が多くなる傾向があると考えられる。そのため、「東四丁目線の強化」について、自転車走行空間を確保してほしい。	「東四丁目線の強化」につきましては、今後、その具体的な内容について検討を進めていくこととしております。いただいたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。
15	35	「交流空間の形成」について、創出する交流空間に「小規模駐輪場の作成」を位置づけてほしい。 都心部を回遊する自転車には、小規模な駐輪場を点在させることが効果的であり、駐輪場不足の解消につながるほか、駐輪場を整備	交流空間につきましては、「市民や来街者の多様な活動を支える、街路や広場、公園などの公共空間」として位置づけております。いただいたご意見につきましては、今後の自転車関連施策の参考とさせていただきます。

		しなければ、交流空間が迷惑駐輪の温床になる可能性がある。	
16	37	地下街、地下道の建設は、積雪寒冷地としては望ましいと思うが、優先すべきは札幌ドームと東豊線福住駅間ではないか。限りある財政の中で、市民ニーズを取り入れて実行してほしい。	都心まちづくり戦略に位置づけた取組の実施にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら、優先順位や必要性を見極めて実施していきたいと考えております。
17	39	「地下空間の拡充と活用」について、地下空間を駐輪場として活用してほしい。 地下空間を駐輪場として利用することで、不足している駐輪容量を確保でき、路上の自転車が減ることで景観の問題も緩和できる。	地下空間の駐輪場としての活用につきましては、計画案 39 ページの(2) 地下空間の活用の2) 基本的な活用方法の中で位置づけております。
18	50	創成川以東地区の開発は、地区内に閉じて行うのではなく、以西地区(札幌、大通、すすきの)との連携がとれるまちづくりが必要であり、他地区との行き来がスムーズであることが重要になる。 創成川以東と以西を結ぶ交通モードとして、自転車は効果的であると考えられるため、重点地区である創成川以東地区について、自転車走行空間の創出と駐輪場整備を位置づけてほしい。	創成川以東地区のまちづくりにつきましては、地区に必要とされる機能なども含めて、今後具体的に検討を進めることとしております。 いただいたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。

計画案全般に関する意見(1件)			
意見番号	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
19	ー	コンパクトシティの推進にあたっては、羊ヶ丘通を利用して市電を清田区に延長するなど、郊外のことでも十分に考慮して進めてほしい。	これからの都市づくりの基本方針として、「持続可能なコンパクトシティへの再構築を進める」としております。その推進にあたっては、郊外に住む住民の方々の暮らしやすさについても十分に考慮しながら進めます。